

(様式1)

令和7年度学校評価

(○：市の重点目標◇：学校の重点目標※本校の具体策)

項目		重点目標	キーワード	取組状況・成果(○)・課題(●)	評価	改善策	学校運営協議会(評価者)の意見等
学校運営	教育課程	○特色のある教育課程を工夫するとともに、PDCAサイクルを意識し、評価改善に努める。 ◇特色ある学校づくり ※チーム担任制	カリキュラムマネジメント PDCAサイクル 社会に開かれた教育課程 教科等横断的な視点	○教育目標に基づき教育課程を編成し、計画的に実施した。 ○出授業を設定したり加配教員の配置を定期的に見直した。 ●評価結果を改善に十分生かし切れていない。	B	・評価結果を次年度計画に確実に反映させる。 ・教科間の関連を整理し重点化を図る。 ・教育課程の点検機会を定期的に設ける。	・今後も、反省をしっかりと残し、次年度に向けた改善ができるようにする。PDCAサイクルを確実に回す。 ・前期、後期だけ見直しをするのではなく、定期的な見直しを行い、修正を図っていく。 ・地域の協力を得た事例については、積極的な発信を行っていく。
	組織運営	○校務のバランスを考えた人材配置に努める。 ◇教職員の指導力の向上 ◇働き方改革の推進 ※主任を中心とした協働体制	サービスの厳正の徹底 適材適所 研修の充実 働き方改革	○校務分掌や会議体制を工夫し、組織的運営を行った。 ○教職員間の連携が強化された。 ○ICTを活用するなどして、業務の精選が行われた。 ●業務負担に偏りが見られる。	B	・業務内容の可視化と平準化を進める。 ・会議の精選と効率化を図る。 ・若手育成を意識した役割分担を行う。	(学校だより等) ・今年度、学校運営協議会、地域学校協働本部が立ち上がった。初年度だったが、いくつか活動を行うことができた。今年度の活動を評価し、次年度に積み重ねを行っていく。
	環境整備	○校内外の整理整頓、環境整備に努める。 ◇安心安全で潤いのある学校環境の整備	施設利用 安全点検 教室配置	○学習環境・校内環境の整備を計画的に実施した。 ○落ち着いた学習環境が整った。 ○児童の意見を環境改善に生かした。 ○学校運営協議会の協力を得た。 ●整備結果の外部発信が不十分である。	A	・学校だより等で環境整備の成果を発信する。 ・計画的な点検と改善を継続する。	・県警の音楽隊を呼べないか。 →芸術鑑賞教室の内容として検討していく。
	地域連携	○地域連携教員を要として、地域とともにある学校づくりに努める。 ◇「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」 ◇誠意ある接遇	地域とともにある学校 学校を核とした地域づくり コミュニティ・スクール 地域コーディネーター	○地域素材や外部人材の活用を通して地域との連携を図った。 ○定期的な会議の開催により、地域連携の推進が図られた。 ●連携内容に偏りがある。	B	・新たな地域人材の発掘を行う。 ・教育課程との関連を明確にする。 ・今年度の取組を記録しておく。	

知の教育	各教科指導・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○学ぶ意欲を引き出し、主体的に学ぶ児童生徒の育成に努める。 ◇基本的な学習態度の育成 ◇主体的・対話的で深い学びを目指す授業改善 ◇確かな学力の向上 	主体的・対話的・深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を実施した。 ○学校課題を中心に研究を進め、授業改善の取組が定着しつつある。 ●学習成果の可視化が不十分である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・評価規準を明確にし共有する。 ・児童生徒の振り返りを充実させる。 ・授業改善事例を校内で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英検を小学校でも実施できるとよい。 ・児童用パソコンが更新される。引き続き、情報モラル指導を行いながら、有効活用を図ってほしい。 ・外国語の授業は、どのように行っているのか。 →英語専科と、ALTとで授業を行っている。ALTが9月から違う方になった。なるべく英語で授業を進めているが、活動の説明などは、日本語になることもある。
	情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一台の情報端末の有効活用に努める。 ◇ICTの活用 	プログラミング教育 情報活用能力 教員のICT活用指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用した授業や情報モラル指導を行った。 ○学習意欲の向上につながった。 ○研修を通して、効果的な活用方法の共通理解を図った。 ●活用方法に教職員間の差がある。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修を充実させる。（ミニ研修の定期的な開催） ・活用事例を共有する仕組みを整える。 ・情報モラル指導の系統化を図る。 	
	国際教育	<ul style="list-style-type: none"> ○英語に触れ、世界を学ぶことで、豊かなコミュニケーション能力の育成に努める。 	SDG's 異文化理解 英語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○国際理解を深める学習活動を実施した。 ○異文化理解への関心が高まった。 ●活動内容の継続性が不足している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に位置付ける。 ・他教科との関連を図る。 ・ALTとのコミュニケーションの機会を増やす。 	
心の教育	児童・生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○自己指導能力の育成を図り、課題を解決できる児童生徒の育成に努める。 ◇あいさつと規範意識の向上 ◇望ましい集団づくり ◇豊かな心の育成 ※「希望の登校」「満足の下校」 ※つながりタイム 	いじめ 不登校 自己指導能力 キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的な情報共有による指導体制を整えた。 ○落ち着いた学校生活の維持につながった。 ○つながりタイムを設定したことで、関わり方に対する理解が深まった。 ●指導判断にばらつきが見られる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方針の共通理解を図る。 ・事例検討の機会を増やす。 ・記録と振り返りを徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校になりがちな児童への対応はどうなっているか。 →児童指導主任、特別支援コーディネーターを中心に情報共有を図り対策を取っている。市教委との連携も図っている。心の健康観察、心の悩みボックス、教育相談なども行っている。 ・小学校では元気に登校していても、中学校で不登校になってしまう児童もいる。 →小中一貫教育として、中学校の先生が小学校で授業を行うなどの取組をしている。スムーズに中学校進学ができるように、中学校との連携を充実させていく。 ・市内に住む外国人が増えている。様々な考え方の児童に対する理解が必要である。
	特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ○共生社会に向け、自分の意見をもち、他者の意見を認め合う雰囲気づくりに努める。 ◇特別支援教育の充実 	インクルーシブ ユニバーサルデザイン 合理的配慮 自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ○校内支援体制を整え、個に応じた支援を行った。 ○教職員の理解が深まり支援が充実した。 ○必要に応じてケー主会議を開催し、柔軟な対応を行った。 ●支援の成果検証が不十分である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画の定期的な見直しを行う。 ・校内研修を通して理解を深める。 ・支援事例を共有する。 	

命の教育	健康教育	<p>○自分の健康を管理し、健やかに生活する児童生徒の育成に努める。</p> <p>◇体力づくりの推進</p> <p>◇健康的な生活習慣の形成</p>	<p>保健教育 保健管理</p>	<p>○日常的な健康指導を継続して実施した。</p> <p>○体力向上週間、縄跳び週間等を設定して、体力づくりの推進を図った。</p> <p>○定期的に生活習慣を見直す週間を位置付けた。</p> <p>●家庭との連携をさらに図っていく必要がある。</p>	B	<p>・家庭への情報発信を充実させる。</p> <p>・養護教諭との連携を強化する。</p>	<p>・家庭との連携が不十分な内容とは。</p> <p>→○○週間等実施しているが、取組状況についての連携はさらに必要である。むし歯の完治提出率が低い。</p> <p>・完治の提出だけでなく、途中経過の報告も実施してはどうか。歯科の予約が取りづらいという話も聞く。</p> <p>・自転車の乗り方の指導を行ってほしい。</p>
	安全教育	<p>○危機意識を高め、安全な生活について判断・実践できる児童生徒の育成に努める。</p> <p>◇安全指導の徹底</p> <p>※「ヒヤリハット事例」の活用</p>	<p>学校安全の徹底・充実 危機管理の推進 生活・交通・災害安全</p>	<p>○年間計画に基づく安全指導を実施した。</p> <p>○外部機関との連携を図った。</p> <p>○「ヒヤリハット事例」を活用して事例に対する理解を深めた。</p> <p>●指導の定着が不十分な面がある。</p>	A	<p>・具体的場面を想定した指導を行う。</p> <p>・訓練や演習を計画的に実施する。</p> <p>・指導内容の振り返りを行う。</p>	<p>→交通安全教室は実施している。以前は自転車部があり、学校に自転車があったことで、自転車の乗り方について指導を行うことができたが、現在は難しい状況である。動画を視聴するなど、できる範囲での啓発を行っていく。</p>
	食に関する指導	<p>○食への関心を高め、健康維持に励む児童生徒の育成に努める。</p> <p>◇健康的な生活習慣の育成</p>	<p>給食管理 アレルギー</p>	<p>○食育計画に基づき指導を実施した。</p> <p>○食への関心が高まった。</p> <p>○学校給食センターとの連携を図った。</p> <p>●食事のマナーについては個人差が見られる。</p>	B	<p>・家庭と連携した取組を推進する。</p> <p>・給食時間の指導を充実させる。</p> <p>・食に関する情報提供を行う。</p>	<p>・安全教育の外部との連携について</p> <p>→本校は土砂災害警戒区域となっている。市役所との連携を図りながら、避難訓練を実施してきた。</p>